

横浜市感染症発生動向調査報告（令和7年8月）

《今月のトピックス》

- 百日咳の報告がさらに増加しています。
- 腸管出血性大腸菌感染症の報告数が増加しています。
- 麻しんの国内感染例の報告がありました。
- 新型コロナウイルス感染症の報告数が増加しています。

◇ 全数把握の対象 ＜2025年7月21日～8月24日に報告された全数把握疾患＞

腸管出血性大腸菌感染症	30件	ジアルジア症	2件
E型肝炎	1件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
レジオネラ症	13件	侵襲性肺炎球菌感染症	4件
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2件	水痘(入院例に限る)	3件
急性脳炎	1件	梅毒	23件
クロイツフェルト・ヤコブ病	1件	百日咳	325件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5件	風しん	2件
後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	2件	麻しん	1件

- 腸管出血性大腸菌感染症:**10歳未満～70歳代で、O血清群は、O157が20件、O103が4件、O26が2件、O不明が5件です(O157とO103の重複1件含む)。経口感染と推定される報告が9件、接触感染と推定される報告が4件、感染経路等不明が17件です。
- E型肝炎:**40代で無症状病原体保有者です。感染経路等は不明です。
- レジオネラ症:**50歳代～80歳代で、肺炎型は12件、ポンティアック熱型は1件です。水系感染と推定される報告が3件、塵埃感染と推定される報告が1件、その他と推定される報告が1件、感染経路等不明が8件です。
- カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症:**50歳代と90歳代で、いずれも感染経路等は不明です。
- 急性脳炎:**30歳代で、感染経路等は不明です。
- クロイツフェルト・ヤコブ病:**50歳代で、病型はGSSです。診断の確実度はほぼ確実です。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症:**10歳未満～60歳代で、血清型はA群が2件、B群が2件、G群が1件です。創傷感染と推定される報告が3件、接触感染と推定される報告が1件、感染経路等不明が1件です。
- 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む):**30歳代と40歳代で、AIDSが1件、無症状病原体保有者が1件です。感染経路はいずれも性的接触(同性間異性間1件、同性間1件)と推定されます。
- ジアルジア症:**30歳代と40歳代で、感染経路は性的接触(同性間)と推定される報告が1件、感染経路等不明が1件です。
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症:**80歳代(ワクチン接種歴不明)で、感染経路等不明です。
- 侵襲性肺炎球菌感染症:**10歳未満～100歳代(ワクチン接種歴4回1件、3回1件、不明2件)で、飛沫・飛沫核感染と推定される報告が2件、飛沫・飛沫核、接触感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が1件です。
- 水痘(入院例に限る):**30歳代～90歳代(ワクチン接種歴不明3件)で、飛沫感染と推定される報告が1件、感染経路等不明が2件です。
- 梅毒:**10歳代～80歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期5件、早期顕症梅毒Ⅱ期8件、無症状病原体保有者10件です。性的接触による感染と推定される報告が21件(異性間13件、同性間4件、詳細不明4件)、感染経路等不明が2件です。
- 百日咳:**10歳未満～80歳代(ワクチン接種歴5回3件、4回151件、3回6件、2回2件、1回3件、無10件、不明150件)で、家族内感染と推定される報告が34件、周囲の流行と推定される報告が33件、家族内感染及び周囲の流行が推定される報告が3件、感染経路等不明の報告が255件です。
- 風しん:**2件とも20歳代(ワクチン接種歴2回1件、不明1件)で、感染経路不明、推定感染地域は国内です。
- 麻しん:**30歳代(ワクチン接種歴無)で、飛沫・飛沫核感染と推定され、推定感染地域は国内です。

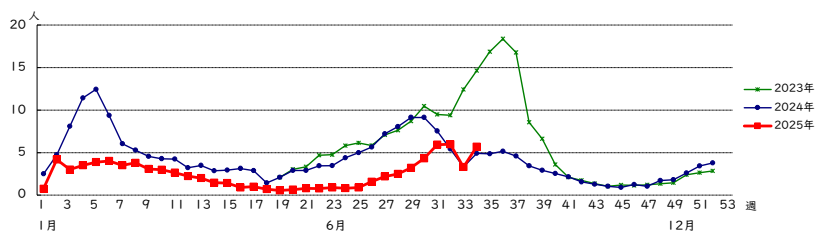
◇ 定点把握の対象

※ 2025 年第 14 週(3 月 31 日～4 月 6 日)以降、小児科定点は 94→51、
内科定点は 59→39 医療機関に変更されました。

報告週対応表	
2025 年第 30 週	7 月 21 日～7 月 27 日
第 31 週	7 月 28 日～8 月 3 日
第 32 週	8 月 4 日～8 月 10 日
第 33 週	8 月 11 日～8 月 17 日
第 34 週	8 月 18 日～8 月 24 日

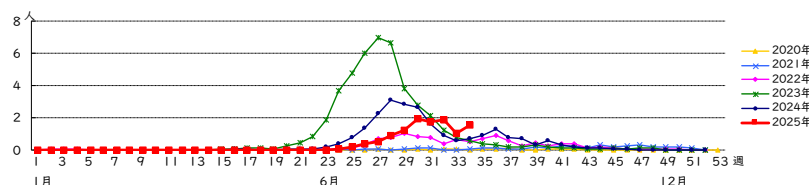
1 新型コロナウイルス感染症

2025 年第 3 週(1 月 13 日～1 月 19 日)
以降、緩やかな減少傾向から横ばいの
状態が続きましたが、第 25 週(6 月 16
日～6 月 22 日)以降、増加に転じていま
す。第 34 週は 5.70 です。



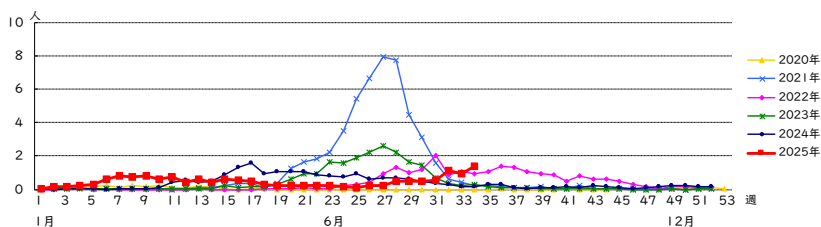
2 ヘルパンギーナ

2025 年第 24 週(6 月 9 日～6 月 15 日)
以降増加傾向となり、第 34 週は 1.55
です。



3 RS ウイルス

2025 年第 26 週(6 月 23 日～6 月 29 日)
以降増加傾向となり、第 34 週は 1.38
です。



4 性感染症(2025 年 7 月)

性器クラミジア感染症	男性:43件	女性:21件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:24件	女性: 5件
尖圭コンジローマ	男性:29件	女性: 1件	淋菌感染症	男性:19件	女性: 3件

5 基幹定点週報

	第30週	第31週	第32週	第33週	第34週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.25	0.50	0.00	0.50	0.25
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.25	1.00	1.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

6 基幹定点月報(2025年7月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	16件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科・ARI(急性呼吸器感染症)定点:5か所、ARI定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計14か所を設定しています。

検体採取は、小児科・ARI定点とARI定点で毎週実施しています。

眼科と基幹(病院)定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

2025年第30週～第34週に病原体定点から搬入された検体は、ARI(急性呼吸器感染症)定点105件、小児科定点6件でした。

8月31日現在、表に示した各種ウイルスの分離4株と遺伝子85件が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(2025年第30週～第34週)

主な臨床症状等 分離・検出ウイルス	上気道炎	下気道炎	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	手足口病	下痢	急性呼吸器症候群 (微熱)
新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	3 30						- 1
インフルエンザウイルス A型	- 1						
RSウイルス	- 10	- 3	- 3				
パラインフルエンザウイルス 2型		1 1					
パラインフルエンザウイルス 3型	- 2	- 1					
パラインフルエンザウイルス 4型	- 2						
アデノウイルス 1型	- 1	- 1					
アデノウイルス 2型	- 1			1 -			
アデノウイルス 型未同定	- 2	- 1					
ヒトメタニューモウイルス	- 3	- 1					
ライノウイルス	- 8	- 2		- 1			
ライノウイルスまたはエンテロウイルス	- 5	- 1					
コクサッキーウイルス A2型						- 1	
コクサッキーウイルス A4型	- 1						
コクサッキーウイルス A6型	- 1						
コクサッキーウイルス A10型					- 1		
合 計	3 67	1 11	- 3	1 1	- 1	- 1	- 1

上段:ウイルス分離数 下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

〈細菌検査〉

2025年第30週～第34週の「菌株同定」について保健所からの検査依頼は、腸管出血性大腸菌感染症31件、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症3件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症5件、侵襲性肺炎球菌感染症2件、侵襲性インフルエンザ菌感染症1件、バンコマイシン耐性腸球菌疑い1件でした。基幹定点医療機関からの検査依頼はサルモネラ症3件でした。

「分離同定」の検査依頼は保健所からレジオネラ症 5 件でした。

病原体定点医療機関からの検査依頼は「小児科定点」から溶血性レンサ球菌咽頭炎 9 件、「ARI 定点」から 3 件でした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2025年第30週～第34週)

菌株同定	項目	検体数	血清型等	
保健所	腸管出血性大腸菌感染症	31	O157:H7 VT1 VT2	(10)
			O157:H7 VT2	(11)
			O157:H－ VT1 VT2	(1)
			O157:H－ VT2	(1)
			O91:H－ VT1	(1)
			O103:H2 VT1	(1)
			OUT: H+ VT2	(2)
			腸管出血性大腸菌以外	(4)
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	<i>Enterobacter cloacae</i> complex	(2)
			<i>Klebsiella pneumoniae</i>	(1)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5	A群溶血性レンサ球菌 T型別不能	(2)
			B群溶血性レンサ球菌 I b型	(1)
			B群溶血性レンサ球菌 型別不能	(1)
			G群溶血性レンサ球菌	(1)
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 24B型	(1)
			<i>Streptococcus pneumoniae</i> 24F型	(1)
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	<i>Haemophilus influenzae</i> 型別不能	(1)
	バンコマイシン耐性腸球菌疑い	1	<i>Enterococcus lactis</i>	(1)
基幹定点	サルモネラ症	3	<i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>enterica</i> O4:i:-	(2)
			<i>Salmonella</i> Enteritidis	(1)
分離同定	項目	検体数	材料	同定、血清型
保健所	レジオネラ症	5	喀痰	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (1) レジオネラ属菌培養 陰性 (4)
小児科サーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等
小児科定点	咽頭ぬぐい液	溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	A群溶血性レンサ球菌 T4 (3) A群溶血性レンサ球菌 TB3264 (3) A群溶血性レンサ球菌 T型別不能 (2) 培養 陰性 (1)
ARIサーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等
ARI定点	咽頭ぬぐい液、 鼻汁	ARI	3	百日咳菌遺伝子 陽性 (1) 百日咳菌遺伝子 陰性 (2) 肺炎マイコプラズマ遺伝子 陰性 (3) 溶血性レンサ球菌 培養 陰性 (2)

【 微生物検査研究課 細菌担当 】